

平成 29 年度県立畜産技術センター 試験研究課題及び事業

県立総合技術研究所畜産技術センター 次長兼技術支援部長 尾形康弘氏

平成 29 年度に実施する試験研究課題及び行政支援事業が確定し、内容は表のとおりです。

本年度に開始する課題、完了する課題、成果の技術移転を行う飼養技術及び育種繁殖に関する研究課題は 15 課題です。本年度から研究種別が少し変更となり、技術を深め、技術の可能性を探るような基礎的な研究開発を行う、基盤研究が設置されています。

また、畜産課の行政施策を支援する行政支援事業、乳

牛用 TMR センターに続く、和牛用 TMR センターの設置や昨年に引き続き、和牛体外受精卵供給事業を当センターは支援します。限られた人員の中でも効率的に、研究開発と技術支援を行う計画にしています。

当センターへの要望がありましたらお気軽に技術支援部に連絡いただければ幸いです。

本年度も引き続きよろしくお願ひします。

平成 29 年度の主要な試験研究課題および事業一覧

課題名	研究種別	年度	内容概略	担当部
高発生能卵作出可能な体外成熟技術の開発	課題解決研究	H29 ~ 31	受精卵移植技術の普及・定着には、受精卵の安定供給と低コスト化が必要のため、体外成熟過程の改善で受精卵の効率的生産を目指す。	育種繁殖研究部
和牛用 TMR 生産・利用技術の移転・普及	課題解決研究 (共同研究型)	H29	平成 30 年 1 月稼働予定の和牛用 TMR センターにおいて供給を予定している 20kg 程度の少量梱包技術を確立する。	飼養技術研究部
発酵 TMR の摂取量に影響を及ぼす発酵条件の検討	課題解決研究 (共同研究型)	H29	発酵条件の異なる TMR 給与が第一胃内容液性状及び TMR 摂取量に及ぼす影響を明らかにする。	飼養技術研究部
ダイレクト移植の受胎率を向上させる新たな技術開発	基盤研究	H29	ダイレクト移植可能な受精卵のガラス化保存法と簡便・容易なガラス化胚移植器具を開発する。	育種繁殖研究部
広島県産和牛における経済的形質に関わるゲノム育種価の推定	基盤研究	H29	雌牛側からも育種改良を進めるため、繁殖雌牛の枝肉 6 形質におけるゲノム育種価の精度向上を図る。	育種繁殖研究部
広島県産和牛への新たな差別化要素付与に関する研究	基盤研究	H29	次世代差別化要素を持った牛づくりを目標とし、飼養管理と遺伝管理により牛肉のうま味成分を向上させる技術を開発する。	飼養技術研究部 育種繁殖研究部
人工知能を活用した呼吸器病・消化器病・周産期疾病の早期発見技術の開発	競争的資金研究	H29 ~ 31	開発センサにより、家畜への暑熱の影響を把握し、授精適期を解明することで、効率的繁殖技術を開発する。	育種繁殖研究部
人工知能を活用した呼吸器病・消化器病・周産期疾病の早期発見技術の開発	競争的資金研究	H29 ~ 31	消化器病の早期発見、乳用牛における食滞の早期発見技術を開発し、飼養技術の改善を図る。	飼養技術研究部
水田里山の畜産利用による中山間高収益営農モデルの開発	競争的資金研究	H29 ~ 31	地域飼料資源の効率的収穫調製・利用システム開発及び分業型高収益肉用牛経営モデル開発のため、和牛用「たちすずか」TMR の開発・給与体系を確立する。	飼養技術研究部
府県における自給飼料生産利用技術の開発と実証	競争的資金研究	H29 ~ 31	粳米サイレージ等を活用した和牛肉の差別化技術を開発し、粳米等を活用した TMR による和牛肥育経営の収益向上と特色ある和牛肉生産を実証する。	飼養技術研究部
凍結精液への抗酸化物質の添加による安定的な体外受精胚生産技術の開発	基盤研究	H29	種雄牛、年齢、ロットの異なる凍結精液で体外受精胚発生率を調査し、抗酸化物質添加による発生率改善効果を検証する。	育種繁殖研究部
家畜人工授精事業	行政支援事業	H27 ~	優秀な種雄牛を効率的に作出し、県有種雄牛の凍結精液を安定的に生産供給する。また広島県産和牛の受精卵移植の普及・定着を加速する。	育種繁殖研究部
広島血統和牛増産緊急対策事業	行政支援事業	H28 ~ 30	TPP 対策として酪農経営の収益性の向上と広島産和牛の生産基盤の強化拡大を目指して、乳用牛から和牛子牛を生産するため受精卵の供給を行う。	育種繁殖研究部